

第9回伊那市誌編さん委員会議事録

開催日時	令和4年7月26日（火）13時30分～16時15分
場 所	伊那市役所 多目的ホール
出席者	編さん委員：18名（欠席：2名） 事務局：教育長、教育次長、市誌編さん室長、担当
会議目的	各編の編さん項目案の報告及び意見交換、市誌と各種資料のデジタル化及びコロナ編についての意見交換

【会議事項】

- 1 各編の編さん項目案について
- 2 市誌と各種資料のデジタル化について
- 3 コロナ編について
- 4 その他

【会議内容】（討議、意見交換による検討事項、決定事項）

1 各編の編さん項目案について

各部会は今回の報告と挙げた意見を参考に、引き続き編さん項目の検討を行う。

<検討課題>

- ・普通の人々の日々の暮らしをいくつかの項目に分けて書いていく。節やアンケート項目は、執筆者が決まってから決めていく予定。特徴的な地区については直接聞き取りを行い、本編とは別に調査報告書を作っていきたい。（民俗部会）
- ・16巻では、「文化財」ではなくあえて「文化遺産」という言葉を使った。伊那市の文化遺産を地区別に記述する案と、分類別に記述する案がある。17巻では、地区の歴史の記述は省略し、古地図を載せたい。18巻では、教育編や民俗編との調整が必要になる。概説編との繋がりや、17巻と18巻の順番の入れ替えを検討中。（文化部会）
- ・「文化遺産」ではなく、文化財保護法を踏まえて「文化財」という表現にした方がよいのではないかと。祭りや民話は庶民のものであり、重視したい。（副委員長）
- ・現在、13～15巻の3巻で検討中。今後、コロナ関係の項目出しも行っていく予定。（社会部会）
- ・農林業、製造業、商業・観光の3分野でまとめていく。項目案はほぼできあがっているが、他編との関わりが多く、どこが中心に扱うか検討が必要。コロナは産業への影響が大きいので、コロナ編ができたとしても産業経済編では扱わざるを得ない。（産業経済部会）
- ・他編との重なりについては、分野によって書き方や資料が変われば内容が変わることもあるので、その辺りを調整しながら進めていくことになるか。（委員長）
- ・学校教育編では、「知る、知らせる、後世に残す」を目標に編集していく。取り上げる学校のバランスと各学校の資料の調達課題である。生涯学習編では、特に文化編との重複があり、今後の検討課題である。（教育部会）

- ・他編との重複が多いので、部会長会での調整が必要。第7巻は、年次ごとにまとめるか、分野ごとにするのか、今後の検討課題である。旧伊那市、長谷村についても拾い出しを行い、項目をまとめていきたい。(政治行政部会)
- ・写真なども使い、項目ごと見開き2頁か4頁でまとめたい。現段階で200頁余であるが、もう少し増える見込み。調査・執筆は、名前を挙げてある方に加えさらに数名の方に依頼していく予定。産業経済編との重なりは今後調整していく。(自然部会)
- ・執筆者の決定と依頼の手順を示してほしい。(委員)
- ・概説編と各編の関係を深めるためにも、概説編の二人の委員にはできるだけ各部会への出席をお願いしたい。(委員)
- ・地域の歴史の中では、地区の皆さんの思いが伝わる叙述を心がけたい。『県史』は確認済みであるが、今後『上伊那誌』や『信濃』、『伊那路』等、通史編に反映すべき研究成果について検討していきたい。(概説部会・通史編)
- ・各編において統一的な枠組みとして検討すべきこと。(概説部会、副委員長)
 - ①スタイルの問題…多様性に富んだ伊那市を視覚的に認識してもらうために、各編の巻頭に数頁割いて写真を載せればどうか。
 - ②1テーマ(節)見開きで最低2～4頁は必要。
 - ③コラムを適宜入れていきたい。
 - ④人物の扱いをどうするか検討する必要がある。
 - ⑤地域・地区の扱い…概説編では、前半は系統的に項目で扱い、後半は地誌的に地区で扱うスタイルとした。地区別の扱いは最低各6頁、高遠や長谷は8～10頁ほしい。
 - ⑥概説編や通史編で自然災害を扱うが、自然編でも自然災害や防災をしっかりと扱ってほしい。
 - ⑦コロナの扱い…コロナ禍を経て発行する市誌として、コロナの扱いは極めて重要。各分野で考えられる項目や問題を出してほしい。
- ・文化編の文化財の扱いは、文化財保護法にあるように項目別に扱うのか、地域単位に扱うのか。通史編では時代ごとに歴史を扱うが、その辺りの整合性を考えていく必要がある。(副委員長)
文化財は地域ごとにまとめるか、項目ごとにまとめるか、さらに時代ごとに区切る方法もある。市民に伊那市の特性を分かってもらえるようなまとめ方を考えていきたい。(委員)
- ・文化編では触れていないが、「いいとこ百選」をどう扱ったらよいか。(委員)

<決定事項>

- ・執筆者や協力者の人選は基本的に各部会で行い、内々に意向を聞いてもらう。その上で事務局に相談・報告し、正式な依頼は事務局が行う。事務局は早々に依頼の手順等をまとめ、部会長会に示していく。(委員長、事務局)
- ・各編の項目の重なりは、各部会でチェックした後、部会長会で調整する。(委員長)
- ・事務局は、各部会の開催に当たって概説部会の二人の委員の出席に配慮し、日程調整等を行う。(委員長)

2 市誌と各種資料のデジタル化について

デジタルの専門的な知見を持つ委員と事務局でデジタル化のプランを作成する。

<検討課題>

- ・デジタル化は編さん事業の目的の一つとして明記されているので、内容がどうであるかは別にして、何らかのデジタル化を図っていく必要がある。(委員長)

<決定事項>

- ・今回の伊那市誌は紙版での発行が大前提なので、最初からデジタルに切り替えることはない。現段階では、何をどうやってデジタル化していくか決まっていない。今後、デジタルの専門的な知見を持つ産業経済部会の二人の委員に協力を依頼し、事務局とタイアップしてプラン作りを行う。デジタル部会の設置はその後の課題とする。(委員長)

3 コロナ編について

各部会でコロナに関する項目を洗い出し、その扱いを部会長会で検討する。

<検討課題>

- ・コロナだけでなく、これを機に感染症の歴史についてまとめていく方向性は確認されていたと認識している。(委員長)
- ・学芸員に、「感染症の歩み」に関わる項目をまとめてもらえないだろうか。(副委員長)

<決定事項>

- ・コロナ編の作成は将来的な問題として捉え、とりあえず各部会でコロナの影響等について項目を検討して部会長会に持ち寄り、1冊とするか、各編で扱うかを決めていく。

4 その他

調査研究によって得られた新しい研究成果を発表する場を検討していく。

<検討課題>

- ・編さん事業の調査研究によって得られた新しい知見や研究成果を発表する場を設定してもらえないか。「研究紀要」や「市誌研究」という形でもよい。(委員)

<決定事項>

- ・市民が、中間的なものも含めて研究財産に触れる機会を持つのは大事なこと。その方法等を含め検討したい。(教育長)

【諸連絡】

- 本日、編さん委員の連絡先一覧を配布。
- 次回(第10回)編さん委員会
10月31日(月) 13時30分 市役所多目的ホール
- 第2回部会長会
9月下旬～10月初旬に開催 *主に各編の項目調整を行う。

○当面の部会の日程

教育部会 7月 27日 (水)、産業経済部会 8月 2日 (火)、政治行政部会・社会部会 8月 3日 (水)

自然部会 8月 10日 (水)、民俗部会 8月 23日 (火)